

様式10 (会派用)

## 行政視察(研修)報告書

令和5年4月3日

南魚沼市議会議長 様

会派名 未来創政会

代表者名 中沢 一博 印

下記のとおり、視察(研修)が終了したので報告します。

視察(研修) 参加議員名	中沢 一博 永井 拓三 大平 剛
期 間	令和 5年3月23日(木) 13時30分~16時15分
視察(研修)先	新潟県動物愛護センター(長岡事務所)
視察(研修) 事 項	新潟県動物愛護センターの概要と取り組みについて
視察(研修) 先 面 会 者	遠山潤センター長
概要及び所見	別紙参照

政務活動調査項目

1. 新潟県動物愛護センターの概要と取り組みについて。

\*日 時 令和5年3月23日 pm1:30~4:15

\*政務活動先 新潟県動物愛護センター（長岡事務所）

\*先方説明者 センター長（獣医師）

①施設の概要

・平成24年4月1日にオープン

県民のニーズや災害での経験を踏まえて、動物愛護や適正飼育のさらなる啓発に取り組んでいる。

・教育機能、動物愛護機能、適正飼育推進機能を備えた県民参加型の施設である。

・職員数はセンター長（獣医師）を含め、13人体制。

②業務内容

・犬猫の保護：やむを得ない事情で飼えなくなった犬猫、迷子の犬猫、けがを犬猫の保護。

・犬猫の譲渡：収容動物（犬・猫）を馴化・適正評価し新しい飼い主へ譲渡。

- ・適正飼育の普及・啓発：犬の飼い方・しつけ方教室、猫の飼い方教室
- ・お悩み相談等開催。
- ・動物介在活動の実施：動物ふれあい教室、職場体験、学生実習の受入。
- ・ペットに関する相談対応・苦情処理。
- ・動物取扱業の監督指導（対象：244施設）
- ・特定動物飼育施設の監視指導（対象：7施設）

### ③業務実績

- ・来館者数
 

平成24年	16,992人
令和元年	16,036人
令和3年（コロナ禍）	9,986人

- ・収容数、譲渡数

		収容数	譲渡数
<犬>	平成24年	234	94 (64.8%)
	令和元年	132	65 (71.4%)
	令和3年（コロナ禍）	50	19 (86.4%)
<猫>	平成24年	1,309	480 (36.7%)
	令和元年	803	645 (80.9%)
	令和3年（コロナ禍）	620	541 (87.8%)

- ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部を補助しています。

オス 5,000円    メス 10,000円

・ペットと幸せに暮らすための3つの備え

- \*ケガや病気など、突然の出来事への備え
- \*自分でお世話が出来なくなった時への備え
- \*適正に買い続けるための備え

③ 総括

- ・動物愛護や適正飼育のさらなる啓発に取り組んでいる。

命の大切さを 動物を通じて学ばせて頂いた。

- ・新潟市・長岡市ではクラウドファンディングを通して、助成金を募っている。 長岡市では100万円に達している。
- ・県の去勢手術助成金補助も、現在では250万円予算化され進められている。
- ・犬・猫の野良化は減って来ているが、高齢者一人で何十頭飼っており、地域との苦情・放置化に悩んでいる。今年に入って2～3月で1人で何十頭との件数が3件もあり、今後はここに重点を置いている。
- ・南魚沼市からも、3校の小学生が勉強に来られている。
- ・センター長 いわく、動物と飼い主との信頼関係、飼い主の教育マナーが求められている。
- ・人も動物も幸せになる為にどうするか…。 との言葉に、胸が熱くなる想いを感じた。

“命の大切さ”を、“尊さ”を 学ばせて頂きました。

新潟県動物愛護センター 政務活動 写真



